

第62回技能五輪全国大会「和裁」職種

競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間（2日間）

1日目 競技 9:00～12:00 昼休み 12:00～12:45 競技 12:45～15:45

2日目 競技 9:00～12:00

2 注意事項

- (1) 統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと。
- (2) 特殊加工（ガード加工など）はしないこと。
- (3) 使用工具等は「持参工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。
- (4) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (5) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (6) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (7) 競技終了時刻になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (9) 競技エリアの絨毯内は土足厳禁とする。
- (10) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

3 仕 様

・仕立て寸法	身丈・・・背から4尺2寸
	袖丈・・・1尺3寸
	衿・・・1尺7寸5分
	袖巾・・・9寸
	袖付・・・6寸
	袖口・・・6寸
	後巾・・・8寸
	前巾・・・6寸5分
	抱巾・・・6寸5分
	衽巾・・・4寸
	合襟巾・・・3寸8分
	繰越・・・5分
	襟下・・・2尺1寸
	前あげの量を約3寸(輪で1寸5分)、後あげの量を約4寸(輪で2寸)とる
	その他の寸法は標準寸法に準ずる

(1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。

右そで。えり先布と裏おくみのこはぎ。裏身ごろは、胴裏、裾回し(八掛け)、胴はぎの縫製まで。(胴裏の背縫いは自由とする)

すべての箇所についてのしるし付け(チャコ、ヘラ等)、折り(スジ等)は、事前に
してきてよい。出来上りの折りも可とする。しるしとしるしの間隔も規定なし。

(2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。

左そで。表身ごろ。裏身ごろのおくみ付けから仕上がりまで。

(3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむこと。

(4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。

(5) そで口布は、回しがけとする。

(6) 共えり及びつま下(えり下)のしつけは、事前に行って来てはいけない。

(7) しつけの種類は自由とする。(袖、共えり、裾、つま下には必ずしつけを掛ける。)

(8) 三つえり芯の長さは8寸(30cm)以内とする

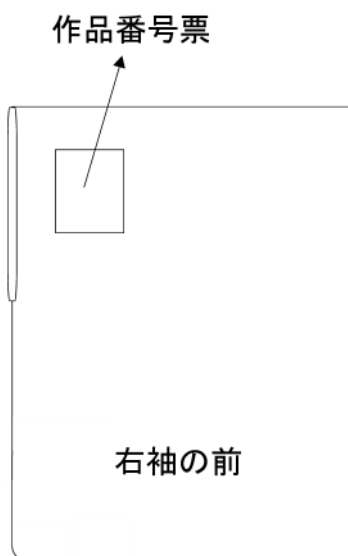
※三つえり芯を事前に付けてきてはいけない。

(9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。

(10) 裏えり、胴はぎの縫込みは、止めても止めなくてもよい。ただし、他の縫込み(裾も含む)は止めてはいけない。

(11) 耳がつれる理由での切り込みはよしとする。ただし、耳を切り落としてはいけない。切り込みの深さは1分5厘までとする。

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



4 支給材料

小紋表地・八掛・胴裏

5 採点項目等

別紙「採点基準」を参照